



三次中央会報

ロータリークラブ

2020-2021 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

事務所/ 広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mrcr.server-shared.com

例会場/ 広島県三次市十日市南1-10-1
三次グランドホテル

例会日/ 月曜日 12:30~13:30

会長 / 石田 光雄

幹事 / 大井 睦子

■本日のプログラム ガバナー公式訪問/クラブフォーラム

■次回例会日時 2020年11月2日 12:30~13:30

■次回プログラム ゲスト講演 尙一場木工所 寺河美帆様

■第1310回例会記録

●日時.....2020年10月19日(月)12:30~

●点鐘.....会長

●国歌「君が代」斉唱.....全員

●ソング「奉仕の理想」.....全員

●ゲスト紹介

三次市社会福祉協議会 地域福祉課長 鹿本武治様

●2020~21年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリーは世界の扉を開く

●2020~2021年度 三次中央RCスローガン

出会いの扉を開き、新しい仲間と
ロータリーをとことん楽しもう

■開会挨拶.....石田会長

10月は経済と地域の発展月間、そして米山月間

皆さん、こんにちは。ゲストの三次市社会福祉協議会の鹿本様、ようこそお越しくださいました。後ほどご講演よろしくお願ひいたします。

さて今月は「経済と地域社会の発展月間」です。この月間テーマは、2014年10月のRI理事会で決定されたもので、「貧困地域の経済発展を目的としてその地域の起業家を育てたり、経済面で地域を牽引するリーダーの育成を試みたり、更に地域のネットワークの向上を図り、雇用の発展に繋げたり、将来貧しい地域を支える人材に光を当てて、奨学金等を支給する」というようなことを、集中的に考え、学び、クラブの奉仕活動に反映する月間ということです。

また10月は、米山月間でもあります。10月5日の例会で、米山担当上田会員から、米山記念奨学会の活動、米山親善大使の紹介がありましたが、RI理事会の経済面で地域を牽引するリーダーの育成の実践であろうかと思われまふ。先月、ロータリー情報委員長 信国会員の「今さら聞けないロータリー情報」という卓話がありましたが、

ちょっとパクらせてもらって、「今さら聞けない米山情報」として何点かお話しをいたします。ロータリー米山記念事業とは、将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」そのものです。



2020年、米山奨学生は883人で、事業費は14億6千万円であり、奨学金は大学院生が14万円、大学生は10万円が最長2年間です。外国からの留学生が米山奨学生であり、日本人が外国に留学するのが、ロータリー財団奨学生です。我

2710地区の米山記念奨学生は22人で全国13位です。以上で会長挨拶・及び米山ミニ情報の時間を終わります。

■幹事報告.....大井幹事

- 次週、10月26日は公式訪問です。例会終了後、クラブフォーラムを開催しますので、よろしくお願い申し上げます。
- 新会員の推薦に異議がありませんでしたので、次週、入会セレモニーとなります。
- 米山奨学会寄付の願いを配布しております。ご協力いただける方はよろしくお願い申し上げます。

■出席報告.....野村委員長

●第1308回 10月5日

会員数	39名	Make-up	1名
欠席	8名	出席合計	32名
欠席者のうち欠席	3名	出席率	88.89%

●Make-up...中島清貴君

●第1310回 本日の出席は39名中32名です。

*先般、皆様にお配りした殺菌水ですが、花粉症にも効果があるようです。ご入用でしたらお声掛けください。

■社会奉仕委員会.....井上澄子委員長

社会奉仕委員会から報告します。社会奉仕委員会では、運覧居の絵本を市内の中学校、高校へ贈呈することを決めました。中学校へ贈る分は、21日(水)市長同席のもと、教育委員会へ贈呈します。各高校へは持参します。

■ゴルフ同好会.....上田会長

忘年杯を12月1日(火) 富士三次カントリークラブで開催します。皆さん、予定を開けておいてください。

■SAA.....中島清祐 SAA

●会員誕生日...杉谷君



●会員ニコニコBOXご出宝

- 杉谷君 67回目の誕生日を迎えます。感謝のみです。(伏)
- 山口君 本日担当例会です。鹿本地域福祉課長をお迎えして。(伏)
- 竹野君 楽しいことありました。(伏)
- 石田君 鹿本様、ようこそ。ご講演、楽しみにしております。
- 小根森君 鹿本様、車椅子寄贈の際は、お世話になりました。本日はよろしくお願い致します。鹿本課長をお迎えして。
- 酒井君 三次市社会福祉協議会の鹿本課長をお迎えして。赤い羽根を付けていません、ゴメンなさい。
- 平田君
- 富野井君 実りの秋に感謝して。
- 角谷君 ゲストをお迎えして。
- 中西君 昨日、家族で吾妻山に登りました。とてもともしんどかったけど、やったーって感じでした。

ニコニコBOX本日出宝額 18,000円

三次市の中学校・高等学校に「運覧居の絵本」を寄贈 2020/10/21
社会奉仕委員会

10月21日三次市役所において、市長・教育長ご同席のもとに「運覧居」の絵本を贈呈いたしました。200数十年前、東北4群の代官、三次町奉行として、その半生をこの地に生きる民衆の幸せのために尽くした、頼杏坪の信念を、未来を担う若い人達に知っていただき、また今なお、当時の面影をとどめたまま、三次町に残る「運覧居」を知ってもらう機会にするためです。

市長・教育長からは、「この本は、頼杏坪・運覧居を通じ、三次の歴史、人としての責任感、思いやりの大切さを知るきっかけのひとつになる。」とお言葉を頂きました。




こんにちは。本日はゲストに鹿本地域福祉課長においでいただきまして、三次市社会福祉協議会の活動状況等の現状についてお話していただきます。

ところで、三次市社旗福祉協議会では、事業収入の多くを占める介護保険収入が減少傾向にあり、人件費の削減により収支のバランスをとっている状況です。このような現状についてご理解の上、事業活動にご支援をお願いします。

山口幸三広報委員長 



三次市社会福祉協議会の 事業内容について

三次市社会福祉協議会 地域福祉課長 鹿本武治 



三次市社会福祉協議会の鹿本です。

三次中央ロータリークラブの皆様、社会福祉協議会にご協力くださりましてありがとうございます。また、昨年度は車椅子を14台ご寄贈いただきありがとうございます。合わせてお礼申し上げます。車椅子は今、市内の数カ所で活躍しています。本日は三次市社会福祉協議会の事業の内容についてお話しさせていただきます。表に出る事業が少なく、何かしら課題がないと出会う機会がありません。それでは、地域福祉の事業と、個別に付けての対策、介護福祉についてお話しさせていただきます。

1、市民と共同で取り組む地域福祉活動

地区社協活動は市内19カ所の地域に分かれています。身近な所での課題について地域住民で構成され、地域が幸せになる、良くなるという事を目的としています。地域地域の実情に合わせて活動しています。

2、ふれあいいきいきサロン

近くで集まれる場所で、社協が援助し独自に行われています。リーダーがだんだんと高齢になり続けにくくなっているのが実情です。それにより見守りが出来にくくなり閉じこもりや引きこもりになり、その事により介護保険料が増えて来ています。地域でのリーダーの育成に取り組んで行く事が今の課題です。

3、はるかぜネット事業

困った人とボランティアを結びつける事業です。例えば買い物に行けない、大掃除、洗濯が出来ないなどのちょっとした困ったことを手助けする事業です。手を借りたい人は、人に迷惑をかけてはいけないと思います。また、お礼をしなければいけない、どうしたらいいのかと悩みますが、このはるかぜを利用する事によって、そのあたりの心配、気遣いも必要なくなります。

4、地域健康事業（地域デビュー講座）

男性60才以上の方は地域に出て行きにくい。



その状況をふまえ、男性が活躍しやすい場所をお試し的に作っています。作木町でコーヒーを上手に入れる方法を3回講座でやりました。居場所と役割づくりです。大変好評でした。教えてくださいだったコーヒー店の店主さんも特に繋がりのあった方ではありませんでしたが、ご協力いただく事が出来ました。ロータリーの皆さんも地域の活性化に協力できる事があれば是非声をかけてください。誰かが全部するのではなく、皆んなが助け合いながらやっていく、また、地域の事を若いもんだけに任せるのではなく、出来る力のある人が協力し、いっしょに地域を支えて行く、経済だけでなく知恵を出しながらやっていく、福祉活動に大事な事だと思います。

5、災害ボランティア活動

ボランティアを募り地域を支えて行く。先般の災害で立ち上げる事になりました。この間2週間、不慣れであった事は否めません。地域に向けて困っているという事が言えない被災者の方々も見受けられました。お互い協力し合って支え合う事の必要性を実感しました。災害時には社会福祉法人、医療機関などが広く、すばやくやっていかななくてはなりません。いざとなったときには皆さんのご協力もお願い致します。

○個別の福祉活動

1、福祉サービス利用援助事業「かけはし」

年令を重ねると認知症状が現れてくる人がいます。その時個人情報の保護についてどうするかです。金融機関でのお金の出し入れは、家族がいる、いないに関わらず重要な問題です。通帳を預かって金融機関に持って行くということのサポートなどを行っています。この制度の利用は確実に増えて来ています。

2、権利擁護センター「もみじ」

ご本人が判断できなくなったという人を援助していきます。財産の有無にかかわらず制度やサービスの利用が出来ます。成年後見人事業です。昨今の実情では厳しい生活をしながら身寄りのない人がどんどん増えて来ています。

○社協が行う介護保険事業

デイサービス5カ所、ヘルパー2カ所、ケアマネージャー、特別養護老人ホーム、グループホームなどがあります。

*お知らせ

社協のホームページが出来ました。自分が困った時、支援者が困った時どうするかなどについて書いてあります。また、フェイスブックを始めました。どんな活動をしているかご覧になってみてください。

ご静聴ありがとうございました。



■謝辞
■点鐘

石田会長
石田会長